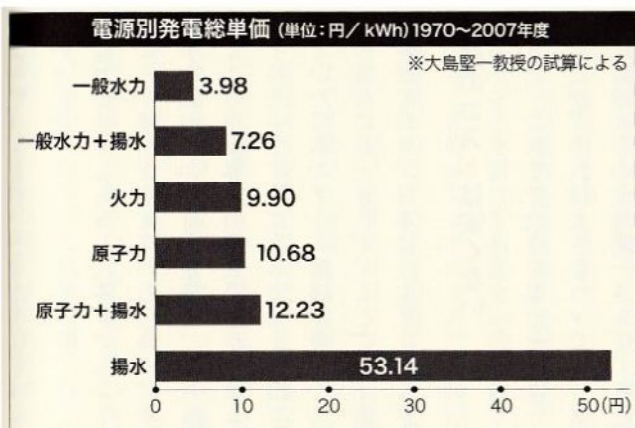




関西電力は

二〇一四年三月期連結決算の純損失が九七四億円で三年連続赤字。大飯、高浜原発の再稼働が見通せない、電気料金の再



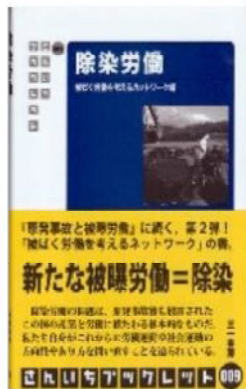
値上げをもくろんでいます。しかし、左上の図を見ても分かるように原発こそが一番コストが高いのです。

図の一番下の揚水発電というのは、一度動かしたら一年は動かし続けなければならぬ原発のために作られた発電所で、電気使用量の低い夜間、余剰の電力を捨てる場所として作られています。この経費も電気代に含まれています。

高い安いに関係なく、危険な原発はなくすべきではないでしょうか。

アートアド・N

本紹介―『除染労働』



ブックレット
「除染労働」を
考えるネット
ワーク編 三一書房刊

『原発事故と被曝労働』に
続く第二弾。
多重下請けの
構造の中で、
賃金とは別に

支払われるはずの危険手当がピンハネされていたことを知り、労働組合を結成して会社にこれを改善させたというニュースをみなさん覚えておられますか？

本書は、その方たち三人の体験談を第一章に収録。第二章で除染労働の実態を就労構造の問題、労働条件の問題、労働環境と安全衛生に関する問題として取り上げています。多重下請けという構造の中で中抜けされる賃金企業の実態が不明な求人。本来支払われるべき賃金。さまざまな被曝線量の管理など。第三章は国、関係機関の対応、第四章除染労働者の闘い、第五章除染労働者の健康と安全を守る法と制度、第六章は除染労働をめぐる課題。大争議を経て労働組合が出版活動を行っています。支援の意味も込め、ぜひご購読を。定価千円(消費税別)の二割引、ご注文は港合同事務局までお願いします。